

企業編

株式会社フェニックス（愛知県豊橋市大橋通）



▲ 試合会場アリーナの写真



▲ ホームタウン商店街との締結の写真

クラブチームに求められるのは、
スポーツ競技力と
人・地域を元気にする“経営力”

● 目的

愛知県東三河地域と静岡県遠州地域に拠点を置く、B.LEAGUEのプロバスケットボールチーム『三遠ネオフェニックス』。そのチームを運営しているのが、株式会社フェニックスであり、2020年9月に本社をホームタウンの豊橋市に移転し活動している。

フェニックスは、B.LEAGUEの試合興行やグッズ販売を事業とするほか、地域スポーツ振興普及に積極的に取り組んでいる。スポーツを通じて、地域やステークホルダーに愛されるチームづくりに取り組むことで、その地域、人、商環境の活性化につながっている。

● 取組概要

B.LEAGUEが目指しているのは、スポーツを通じて地域の社会課題を解決しSDGsを達成しようとする未来社会。その理念をもとに、フェニックスは、地域行事への参加、バスケ教室の開催とさまざまな取組を行っており、活動件数は、1年で160件にも達している。件数をさらに増やしたいが、実際はマンパワーが追いつかない…。クラブと地域がともに元気になるため、フェニックスならではの面白い取組を実施。愛知大学と連携して、商店街魅力向上を目的とした学生による実践型事業や、市内にある「大豊商店街」とホームタウン商店街の締結を交わし、試合の来場者が商店街に立ち寄る環境を作り出そうとする活動などがある。また、東三河の8自治体とも連携協定を結び、試合会場のアリーナでは地元の“食”を楽しめるブースが出店され、相乗効果が期待できる。

● 今後の展開

2026年よりB.LEAGUEは大きな構造変化が予定されている。クラブが事業投資できる経営環境を整えるために、“NEW B.LEAGUE”では、単年度競技成績による昇降格を廃止し、今後は、クラブが選手強化・スタッフ・地域活動に投資できる経営力が求められる。

フェニックスは、これまで培った経験やリソースをフル活用し、より強固なクラブとして地域とともに元気になるよう取り組みを加速していく。外部人材の交流も行われており、他スポーツクラブからの知恵やアイデアを融合し、更なる飛躍をとげていく。



株式会社フェニックス

愛知県豊橋市大橋通二丁目146番地



0532-35-7528



株式会社フェニックス